

令和4年度臨時藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会
会議録（案）

期日：2022年10月13日（木）13時30分～14時25分

場所：藤沢市役所本庁舎3階 3-3会議室（オンライン会議）

出席者（敬称略）：

【検討委員】

渡邊 泰典
藤井 佳世
稲垣 景子
新海 政雄
神原 勇人
村上 尚
越 美紀
河内 幸恵
三浦 孝一
澤野 美奈子

【検討部会員】

峯 浩太郎	教育部長
近 尚昭	教育部参事
伊藤 雅浩	教育総務課 課長
藤田 健司	教育総務課 主幹
宇野 匡	学務保健課 課長
柏崎 浩通	学務保健課 主幹
佐々木 瑞香	学務保健課 主任
神谷 忠良	学校給食課 課長
田中 弘光	学校給食課 課長補佐
鳥生 学	学校施設課 課長
木下 尊人	学校施設課 課長補佐
塩野 充彦	企画政策課 主幹
杉田 弘	企画政策課 主幹
岡本 竜馬	スポーツ推進課 課長補佐
越川 正興	地域共生社会推進室 主幹
堀田 典久	都市計画課 主幹

【事務局】

浅野 智一	教育総務課 主幹
安西 美知代	教育総務課 課長補佐

根本 慎太郎 教育総務課 主任
角田 祐生 教育指導課 指導主事
時田 裕美 教育総務課

欠席者

【検討部会員】

坪谷 麻貴 教育指導課 課長
中村 田 教育指導課 指導主事
日原 敦史 市民自治推進課 課長
小野 洋 青少年課 課長補佐

【傍聴者】 3人

(渡邊委員長)

令和4年度臨時藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催する。本日は臨時ということでみなさま調整にご協力いただいた。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からオンラインでの会議開催となる。

議事に入る前に議題(3)藤沢市立学校適正規模・適正配置実施計画については、審議に関する情報であり、公開することにより、未確定の段階の情報が確定されたものと誤解され、市民の間に混乱を生じさせる恐れがあることから、藤沢市情報公開条例第6条第3号の規定により非公開での審議としたい。

(委員)

異議なし

(渡邊委員長)

異議なしのため議題(3)については後ほど非公開での審議とする。

議題(1)第3回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会の会議録(案)について議事とする。事務局より説明をお願いする。

(教育総務課 浅野主幹)

第3回検討委員会の会議録の確認をお願いしたい。事務局からの説明は以上。

(渡邊委員長)

会議録の内容について修正等あるか。

修正等がないようなので、会議録については記載された内容で了承する。

続いて、議題(2)アンケート結果の概要について議事とする。事務局より説明をお願いしたい。

(教育総務課 安西補佐)

資料2 小中保護者結果 (概要版)

事前に郵送した資料の差し替えがあり、今朝メールで送った。アンケートのまとめ方の案をお示ししたものである。

アンケートは9月1日～9月16日まで行った。小中学校保護者を対象としたもの、未就学保護者を対象としたもの、小中学校教職員を対象とした3種類を行った。結果は現在集計中で、例として資料2は小中学校保護者の回答結果をお示しするかたちの案として作成したものである。

小中学校保護者の回答数は6,462人、回答率は19%。このパーセンテージは子どもの数を分母とした数値である。現在家庭数の調査をしているので子どもの人数より少なくなるため、回答率は19%より高くなる。未就学保護者の回答数は1,879人、回答率は29.3%、学校教職員の回答数は607人、回答率は30.9%である。アンケート結果の概要版として主な質問を抜粋してA4にまとめた。

「どの程度の時間までが通学時間の可能な範囲だと思いますか。」は小学校と中学校とも30分以下が一番多かった。小学校では62%、中学校では73%を帯グラフでお示した。

「基本方針にそってこれからの学校の規模や配置について検討していくうえで大切だと思うことは何ですか。」は「自宅からの通学距離・通学にかかる時間」が4段階評価で「大切だと思う」が75%、「通学路が安全であること」では「大切だと思う」が97%で保護者の関心の高さが見て取れる。

「クラス替えができる程度の児童生徒がいること」は「大切だと思う」は中学校が一番高く65%という結果だった。

「小学校または中学校は1学年あたり何クラスが理想的だと思いますか」は、小学校では3クラスと4クラスが全体の90%程を占めていて、4クラスだとすると、1学校で24学級がちょうどいいということが見て取れる。中学校も4クラスもしくは5～6クラスが80%程となっている。1学年当たりの設問となっているが、適性の事業を進めるうえで学校規模を議論する時の学級数の考え方にもつながる結果である。自由記述は保護者の方からの意見を伺った。学区、学校規模、通学路などに分類してまとめ、それぞれの件数と代表的な意見を原文のまま抜粋し載せている。「学区は住所で区切るのではなく、最も近い学校に通えることが理想かと思います。ただ、児童数など考慮したい点もあるので、複数の選択肢があってもよいかと思います。」などさまざまな意見が保護者から寄せられた。集計の全体版はHPに掲載する。概要版に2次元コードを入れて印刷し、紙の概要版はアンケート対象者にフィードバックする。

(渡邊委員長)

説明に対する質疑あるか。

(新海委員)

円グラフが見やすいと思うがいかがか。

(教育総務課 安西補佐)

グラフの見せ方は円グラフや帯グラフなど様々なかたちを作り、プリントアウトして検討したが、現時点で載せる情報量と見やすさのバランスで帯グラフになった。白黒印刷でお配りすると今お示ししている案になる。

(新海委員)

自宅でカラープリントしたら見やすかったが、白黒印刷したものだと見にくい。

(教育総務課 安西補佐)

もう一度検証する。

(新海委員)

わかりました。

(渡邊委員長)

そのほかにあるか。

(藤井委員)

小中学校に通っている保護者の方を対象ということを明記したほうがいい。

(教育総務課 安西補佐)

わかるように明記する。

(越委員)

未就学の回答率がかなり高いが、同じように自由記述欄を設けたか。

(教育総務課 安西補佐)

未就学も自由記述欄を設けた。まだ集計ができていないのでまだお示しできないが、小中学校と同じパターンのものである。

(稲垣委員)

今後、回答結果を地域別、学区別に集計して特徴を明らかにしたものを示すか、概要版には載せられないと思うが、予定を教えてください。

(渡邊委員長)

アンケート結果の集計について、地区別等の情報をどこまで作る予定であるか。

(教育総務課 安西補佐)

郵便番号、学校名を書きいただいているので、住んでいるところの特性を拾うのは可能である。郵便番号から地域や学校区の分析をし、できれば10月27日に全体版の説明報告をしたいと思っている。

(稲垣委員)

急ぐべきかわからないが、具体的に検証する貴重な資料となるので、詳細な集計・分析ができればいいと思う。

(渡邊委員長)

ほかにあるか。

続いて次第2その他を事務局からお願いしたい。

(教育総務課 安西補佐)

次回の検討委員会は10月27日(木)午後2時から3-3会議室で、zoomで開催する。

(渡邊委員長)

その他公開の審議にて共有すべきことはあるか。

以上で本日の公開での審議の日程は全て終了となる。傍聴者のみなさまにおかれましてはご退席いただきたい。

【以下非公開審議の会議録】

以 上